



# JSMO2022

2022 the Japanese Society of Medical Oncology Annual Meeting  
第19回日本臨床腫瘍学会学術集会

INSPIRING ASIAN COLLABORATION AND THE NEXT GENERATION IN ONCOLOGY

# PATIENT ADVOCATE PROGRAM

## 患者・家族、一般の方々にむけた特別プログラム

医療機関、ヘルスケア関係企業、メディア、広告代理店等に勤務し主たる収入を得ている方は、一般参加枠でお申し込みください。

- 開催日** 2022年2月17日(木)~19日(土)
- 会場** 国立京都国際会館 〒606-0001京都市左京区岩倉大鷲町422番地  
1階 Room C-1(本会場)、Room C-2(中継会場) およびLIVE配信
- 開催形式** ハイブリッド形式(現地参加またはWEB参加)  
※今後の感染状況によっては、開催方法が変更となる場合もあります。
- 参加費** 3日間1,000円(クレジット決済または銀行振込)

## ACCESS



# PROGRAM

## オリエンテーション

PAP基礎講座①「がん予防とワクチン」

PAP基礎講座②「がん手術療法の進歩」

PAP基礎講座③「がん薬物療法の進歩」

PAP基礎講座④「がん放射線療法の進歩」

PAP基礎講座⑤「がん免疫療法の進歩」

PAP基礎講座⑥「がん研究」

PAP基礎講座⑦「SCRUM-Japan/MONSTAR-SCREEN」

PAP基礎講座⑧「全ゲノム解析」

PAP基礎講座⑨「がんと遺伝性腫瘍」

PAP基礎講座⑩「AYA世代のがん」

PAP基礎講座⑪「がん登録」

PAP応用講座①「治験を含む臨床試験の枠組みについて」

PAP応用講座②「臨床試験と倫理指針について」

PAP応用講座③「ガイドラインにおける  
クリニカルクエストとは」

PAP応用講座④「グループディスカッション(1)」  
※PAP応用講座①～③の内容を基に  
ディスカッションを行います

PAP応用講座⑤「グループディスカッション(2)」  
※PAP応用講座①～③の内容を基に  
ディスカッションを行います

※都合により変更となる場合もございますので、予めご了承ください。  
※学術集会本会のセッションも、一部を除いて、会期中はLIVE配信、  
学術集会終了後はオンデマンド配信にて聴講できます。

## 参加登録期間

2021年10月1日(金)正午～2021年12月12日(日)正午

※トラベルグラント(交通費・宿泊費助成)申込みの方は2021年11月30日(火)正午締切

下記URLまたはQRコードから必要事項をご入力の上お申し込みください。

<https://reg-cloud.com/jsmo2022pap/Entry/RegTop.aspx>



## 募集人数 (原則先着制)

<現地参加>「応用講座グループディスカッション」(3日目午後) 参加あり 30名 / 参加なし 100名

<LIVE配信参加> 500名

※感染防止のため、現地会場の座席数は通常よりも少ない設定にて開催予定です。本会場が満席の場合には、中継会場へのご案内となりますのでご了承ください。

## 参加方法

- ◆ 申込受付、参加費入金を確認いたしましたら、後日、現地参加の案内と学術集会Web視聴ページのご案内をメールにてお送りいたします。pap2022@zenganren.jpからのメールが受信できる設定をお願いします。開催1か月前になっても全く連絡が届かない場合は、jsmo@jsmo.or.jpへお問い合わせください。現地でご参加の方は、プリントアウトし当日会場へご持参のうえ、PAP参加受付にてご提示ください。
- ◆ 学術集会のPAP以外のプログラムにご参加の場合、学術集会当日、PAP参加受付にてお渡しするネームタグ(PAP参加証)を必ずご着用ください。
- ◆ 3日間を通しての参加費は1,000円ですが、1日のみのご参加でも1,000円となります。また、お一人1,000円をお支払いいただければ、現地参加、LIVE配信、オンデマンドの全ての形式にご参加いただけます。

トラベルグラント(旅費・宿泊費の助成)を希望される方は、下記「トラベルグラント」に記載のURL内「7.トラベルグラント募集要項」をご参照の上、お申し込みください。トラベルグラントお申し込みの方は、締め切りが11月30日(火)正午までとなりますので、お早目にお申し込みください。

## 応募基準

第19回日本臨床腫瘍学会学術集会PAPの開催趣旨を理解し、注意事項を遵守いただける患者、家族、市民が対象です。

以下の基準をお守りください。

- ◆ 医療機関、ヘルスケア関係企業、メディア、広告代理店等に勤務し主たる収入を得ていないこと ◆ オンラインに自分自身で接続し、受信できる環境を整えられること ◆ オリエンテーションに参加、もしくは視聴してからセッションに参加すること ◆ 参加にあたって事務局やセッションの座長の指示に従い、進行を妨げるような言動をしないこと ◆ 学術集会本会に参加する場合には、登壇者に対して質問しないこと ◆ 会場でのスライド撮影、オンラインでのスクリーンショット、動画収録、音声録音をしないこと ◆ 企業共催セミナーへの参加、企業展示会場への入場はしないこと ◆ 特定の医療機関、医師を推奨、あるいは助成を受けていないこと ◆ 承認、未承認にかかわらず、特定の治療法を支持、推奨していないこと ◆ 特定の健康食品、健康器具等を推奨、販売していないこと ◆ 特定の政治団体、宗教等を推奨していないこと ◆ 反社会勢力との関わりがないこと

※上記項目は、個人の信教の自由、及び政治活動の自由を妨げるものではありません。

## 注意事項

- ◆ PAPでは登壇者に質問できますが、それ以外での医師をはじめとする医療従事者への質問・ご相談は禁止です。 ◆ Zoomを用いたLIVE配信を行います。現地にお越しにならず、LIVE配信をご視聴の場合には、インターネットが利用できる環境をご自身でご準備ください。技術的なサポートはいたしません。 ◆ LIVE配信ではZoomウェビナー機能を使用し、講師への質問はQ&Aで受け付ける予定ですが、進行を妨げるような質問、個人の治療に関するご相談は控えください。 ◆ 発表スライドの撮影・スクリーンショット、録音・録画は禁止です。またSNSへの投稿も禁止です。 ◆ 薬機法の「広告の制限」により、企業共催セミナーへのご参加、企業展示会場へのご入場はできません。 ◆ 学術集会会場内での迷惑行為・暴力行為は禁止します。 ◆ ご参加にあたっての注意事項をお伝えするオリエンテーションを必ず聴講ください。上記7点を遵守いただけない方は、お申込手続き完了後であってもご参加できなくなる場合がございますことをご了承ください。

## トラベル グラント

### 患者さん・ご家族、支援者の方へ 交通・宿泊費の助成事業「トラベルグラント」

第19回日本臨床腫瘍学会学術集会では、職種や立場の境界を越えて、がん医療について共に考え討議するために、PAPにより多くの患者さん・ご家族、支援者の方にご参加いただきたいと考え、以下要領にて、現地参加の方を対象に交通・宿泊費の助成を行います。詳細はWEBでご確認ください。

<https://www.c-linkage.co.jp/jsmo2022/contents/pap.html>

助成を希望するPAP参加者は、原則として、学術集会の会期3日間すべて参加と、会期前後の両方にレポートを提出いただくことが必須となります。

— 応募締切 —  
2021年  
11/30(火)  
正午

お問合せ先：一般社団法人全国がん患者団体連合会 [pap2022@zenganren.jp](mailto:pap2022@zenganren.jp)

JSMO2022

第19回日本臨床腫瘍学会学術集会

INSPIRING ASIAN COLLABORATION AND  
THE NEXT GENERATION IN ONCOLOGY

# PATIENT ADVOCATE PROGRAM

患者・家族、一般の方々にむけた  
特別プログラム

医療機関、ヘルスケア関係企業、メディア、広告代理店等に勤務し  
主たる収入を得ている方は、一般参加枠でお申し込みください。

[プログラム](#)

[参加を希望される方へ](#)

[チラシをダウンロード](#)

## 開催概要

**開催日** 2022年2月17日（木）～19日（土）

### 会場

国立京都国際会館 1階 Room C-1（本会場）、Room C-2（中継会場）およびLIVE配信

※現地参加とWEB参加両方に対応するハイブリッドでの開催です。

現地参加かWEB参加か、どちらかをお選びください。

※今後の感染状況によっては、開催方法が変更となる場合もあります。

※感染防止のため、現地会場の座席数は通常よりも少ない設定にて開催予定です。本会場が満席の場合には、中継会場へのご案内となりますのでご了承ください。

※PAPプログラムは、学術集会終了後（3月1日～31日 ※予定）もオンデマンドで聴講いただけます。

※学術集会本会のセッションも、一部を除いて、会期中はLIVE配信、学術集会終了後はオンデマンド配信にて聴講できます。

### 会長

大江 裕一郎（国立がん研究センター中央病院 副院長／呼吸器内科長）

## 会長挨拶



第19回日本臨床腫瘍学会学術集会を2022年2月17日（木）、18日（金）、19日（土）の3日間、国立京都国際会館およびザ・プリンス 京都宝ヶ池において開催させていただきます。2021年2月の第18回日本臨床腫瘍学会学術集会は新型コロナウイルス感染の影響で完全web方式での開催となりましたが、第19回日本臨床腫瘍学会学術集会は現地開催とweb参加のハイブリッド形式での開催を目指しています。

日本臨床腫瘍学会学術集会は主にがん診療に関わる医師などの医療従事者、研究者が最新の研究成果を発表する場であり、例年多くの研究成果が発表されています。これらの研究の目的は、究極的にはがん患者さんにより良い治療を届けることにあります。しかし、我々、医療従事者や研究者が考えている良い治療と患者さんやご家族が考えている良い治療とが異なっている問題はあり、近年では患者さんとの協力体制の構築が重要と考えられるようになりました。

このような状況のなかで、日本臨床腫瘍学会では第9回学術集会からペイシェント・アドボケイト・プログラムを開催しています。今回のプログラムは、全国がん患者団体連合会が本学会関連部会委員と協働して企画したプログラムです。多くの患者さん、ご家族などにご参加いただき、がん診療、がん研究に対する理解を深めていただくとともに、学会員との交流も深めていただければと思います。

Withコロナ時代の新しい開催形式での学術集会になりますが、多くの皆様と2022年2月に京都でお会いすることを楽しみにしています。



第19回日本臨床腫瘍学会学術集会 会長

**大江 裕一郎**

国立がん研究センター中央病院 副院長／呼吸器内科長

## プログラム ※都合により変更となる場合もございますので、予めご了承ください。

- PAP基礎講座①「がん予防とワクチン」
- PAP基礎講座②「がん手術療法の進歩」
- PAP基礎講座③「がん薬物療法の進歩」
- PAP基礎講座④「がん放射線療法の進歩」
- PAP基礎講座⑤「がん免疫療法の進歩」
- PAP基礎講座⑥「がん研究」
- PAP基礎講座⑦「SCRUM-Japan／MONSTAR-SCREEN」
- PAP基礎講座⑧「全ゲノム解析」
- PAP基礎講座⑨「がんと遺伝性腫瘍」
- PAP基礎講座⑩「AYA世代のがん」
- PAP基礎講座⑪「がん登録」
- PAP応用講座①「治験を含む臨床試験の枠組みについて」
- PAP応用講座②「臨床試験と倫理指針について」
- PAP応用講座③「ガイドラインにおけるクリニカルクエストとは」
- PAP応用講座④「グループディスカッション（1）」：  
PAP応用講座①～③の内容を基にディスカッションを行います
- PAP応用講座⑤「グループディスカッション（2）」：  
PAP応用講座①～③の内容を基にディスカッションを行います



参加を希望される方へ ※必ずお読みください。

## 1. ペイシェント・アドボケイト・プログラムの目的

---

ペイシェント・アドボケイト・プログラム（以下PAP）は、応募基準に記載した条件を満たす患者、家族、一般の方々に対し、学術集会参加を優待し、患者・家族、市民と会員が、正しい情報を共有し、課題を抽出、議論する場として提供するプログラムです。本プログラムの実施が、より良いがん医療の実現につながっていくことを目的としています。

(ア) 基礎講座：がん医療やがん対策について広く学ぶ。

(イ) 応用講座：医学研究・臨床試験等における患者・市民参画（PPI；Patient and Public Involvement）を推進する事で、より良いがん医療のために患者、家族等が協働する事の重要性を学ぶ。

## 2. プログラムの概要

---

- 応募基準に記載した条件を満たした方は、第19回日本臨床腫瘍学会学術集会のPAPに1,000円で参加いただけます。事前申し込みが必要で、参加人数には制限があります。
- PAPの「基礎講座」「応用講座」すべてのプログラムに参加することも、一部のプログラムに参加することも可能です。ただし、「PAP応用講座④グループディスカッション（1）」、「PAP応用講座⑤グループディスカッション（2）」に参加する場合は、原則として「PAP応用講座①～③」をすべて受講することが必須となります。
- PAPだけでなく、学術集会本会で開催されるプログラムの聴講も可能ですが、企業共催プログラムなど、一部参加できないものもありますのでご了承ください。

## 3. 応募基準

---

第19回日本臨床腫瘍学会学術集会PAPの開催趣旨を理解し、注意事項を遵守いただける患者、家族、市民が対象です。

以下の基準をお守りください。

- 医療機関、ヘルスケア関係企業、メディア、広告代理店等に勤務し主たる収入を得ていないこと
- オンラインに自分自身で接続し、受信できる環境を整えられること
- オリエンテーションに参加、もしくは視聴してからセッションに参加すること
- 参加にあたって事務局やセッションの座長の指示に従い、進行を妨げるような言動をしないこと
- 学術集会本会に参加する場合には、登壇者に対して質問しないこと
- 会場でのスライド撮影、オンラインでのスクリーンショット、動画収録、音声録音をしないこと
- 企業共催セミナーへの参加、企業展示会場への入場はしないこと
- 特定の医療機関、医師を推奨、あるいは助成を受けていないこと
- 承認、未承認にかかわらず、特定の治療法を支持、推奨していないこと
- 特定の健康食品、健康器具等を推奨、販売していないこと
- 特定の政治団体、宗教等を推奨していないこと
- 反社会勢力との関わりがないこと

※上記項目は、個人の信教の自由、及び政治活動の自由を妨げるものではありません。

なお、医療機関、ヘルスケア関係企業、メディア、広告代理店等に勤務し主たる収入を得ている方は一般参加枠もしくはメディア枠でお申込みください。

## 4. 注意事項

---



- PAPでは登壇者に質問できますが、それ以外での医師をはじめとする医療従事者への質問・ご相談は禁止です。
- Zoomを用いたLIVE配信を行います。現地にお越しになれず、LIVE配信をご視聴の場合には、インターネットが利用できる環境をご自身でご準備ください。技術的なサポートはいたしません。
- LIVE配信ではZoomウェビナー機能を使用し、講師への質問はQ&Aで受け付ける予定ですが、進行を妨げるような質問、個人の治療に関するご相談はお控えください。
- 発表スライドの撮影・スクリーンショット、録音・録画は禁止です。またSNSへの投稿も禁止です。
- 薬機法の「広告の制限」により、企業共催セミナーへのご参加、企業展示会場へのご入場は出来ません。
- 学術集会会場内での迷惑行為・暴力行為は禁止します。
- ご参加にあたっての注意事項をお伝えするオリエンテーションを必ず聴講ください。

上記7点を遵守いただけない方は、お申込手続き完了後であってもご参加できなくなる場合がございますことをご了承ください。

## 5. 応募方法

**申込期間：2021年10月1日（金）正午～2021年12月12日（日）正午**  
**※トラベル грант（交通費・宿泊費助成）申込みの方は2021年11月30日（火）正午締切**

以下の申込フォームから必要事項をご入力の上お申し込みください。

申込受付、参加費入金を確認いたしましたら、後日、現地参加のご案内と学術集会Web視聴ページのご案内をメールにてお送りいたします。

pap2022@zenganren.jpからのメールが受信できる設定をお願いします。

開催1か月前になっても全く連絡が届かない場合は、[jsmo@jsmo.or.jp](mailto:jsmo@jsmo.or.jp)へお問い合わせください。

### 定員（原則先着制）：

[現地参加]

「応用講座グループディスカッション」（3日目午後）へのご参加あり 30名

「応用講座グループディスカッション」（3日目午後）へのご参加なし 100名

[LIVE配信参加]

500名

### 参加費：

1,000円（クレジットカード決済または銀行振込のいずれかでお支払いください）

※クレジットカード決済にてお支払いの場合、カード利用明細の利用店名等は「株式会社プロアクティブ」（決済代行会社）と表示されます。

※参加費は直接、日本臨床腫瘍学会へ入金されます。運営を担当する全国がん患者団体連合会は、一切関与いたしません。

※原則として、参加申込後のキャンセル、返金には応じられませんのでご了承ください。

## 6. ご参加方法

- 参加登録完了後、自動返信メールをお送りします。現地でご参加の方は、プリントアウトし当日会場へご持参のうえ、PAP参加受付にてご提示ください。
- 学術集会のPAP以外のプログラムにご参加の場合、学術集会当日、PAP参加受付にてお渡しするネームタグ（PAP参加証）を必ずご着用ください。
- 3日間を通しての参加費は1,000円ですが、1日のみのご参加でも1,000円となります。また、お一人1,000円をお支払いいただければ、現地参加、LIVE配信、オンデマンドの全ての形式にご参加いただけます。

**※トラベル грант（旅費・宿泊費の助成）を希望される方は、「17. トラベル грант募集要項」もご参照の上、お申し込みください。トラベル грантお申込みの方は、締め切りが11月30日（火）正午までとなりますので、お早目にお申し込みください。**

## 7. トラベル грант（交通費・宿泊費の助成）募集要項



## 実施要項

第19回日本臨床腫瘍学会学術集会では、職種や立場の境界を越えて、がん医療について共に考え討議するために、PAPにより多くの患者さん・ご家族、支援者の方にご参加いただきたいと考え、以下要領にて、現地参加の方を対象に交通・宿泊費の助成を行います。助成を希望するPAP参加者は、原則として、学術集会の会期3日間すべて参加と、会期前後の両方にレポートを提出いただくことが必須となります。

## 応募方法

応募の方法は、インターネットのみとなります。申込者は、Eメールでの連絡を中心に、ファイル添付等による書類のやりとりができることが必須となります。募集に関する注意事項をご確認ください。

## 選考基準

- 申し込みの際にご記入いただく「参加動機」を選考の参考とします。また、開催後にも500字程度のレポートをご提出いただきます。
- 過去にトラベルグラントを支給されていない方を優先させていただきます。（PAPトラベルグラントは第17・18回で実施しています）
- 会期3日間、すべて参加をお願いいたします。（各日、参加確認をさせていただきます）
- 会期3日目に開催の応用講座グループディスカッションに参加いただける方を優先させていただきます。

## 注意事項

- 3. に記載の「応募基準」に準じてお申し込みください。
- 4. に記載の「注意事項」をお守りください。
- Eメールで添付ファイルをお送りすることがありますので各自ご対応ください。
- 原則として、会期3日間、全日参加をお願いします。（各日、参加確認をさせていただきます）
- 会期後にレポートを500字程度でご提出いただきます。フォーム、締切日は別途ご連絡いたします。
- 助成金のお支払いは、会期後のレポート提出を確認してからとなります。
- 注意事項をお守りいただけない場合は、助成金のお支払いができない場合があることをご了承ください。

## 応募締切

2021年11月30日（火）正午

募集定員：50名

## 選考と通知

JSMO2022PAPトラベルグラント選考委員にて選考を行い、12月中旬頃にお知らせいたします。

## 助成金額

ご自宅が京都（国立京都国際会館）から100km未満は宿泊費は対象外となります。  
下表のとおり、地域に応じて記載の金額を一律で支給となります。

地域	金額
北海道（北海道全域）	¥50,000
東北（青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）	¥54,000
関東（茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川）	¥55,000
甲信越（新潟、富山、石川、福井、山梨、長野）	¥44,000
東海（静岡、愛知、岐阜、三重）	¥39,000
近畿（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）	京都（ <a href="#">国立京都国際会館から</a> ） 【50km未満】 ¥9,000



	【50km以上 100km未満】 ¥15,000 【100km以上】 ¥23,000
中四国（岡山、広島、山口、島根、鳥取、愛媛、徳島、高知、香川）	¥46,000
九州（福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島）	¥54,000
沖縄（沖縄全域）	¥54,000

※往復の交通・宿泊はご自身で手配いただきます。助成金額は国家公務員旅費規程に則って算出しておりますが、金額が不足する場合はご自身にてご負担ください。

※天候不良による旅程変更については、ご自身でご対応ください。

※助成金のお支払いは、会期終了後のレポート提出を確認してからとなりますので、旅費は一旦、ご自身でお立替えをお願いいたします。なお、**交通・宿泊予約のキャンセル料金は一切負担出来かねますので予めご了承ください。**

参加登録申込フォーム

## 運営

第19回日本臨床腫瘍学会学術集会PAPは、一般社団法人全国がん患者団体連合会が運営を担当します。

## お問合せ先

一般社団法人全国がん患者団体連合会

[pap2022@zenganren.jp](mailto:pap2022@zenganren.jp)

※お問合せはメールでお願いいたします。返信にお時間をいただく場合がございますが、予めご了承ください。

JSMO2022 第19回日本臨床腫瘍学会学術集会  
2022 the Japanese Society of Medical Oncology Annual Meeting

INSPIRING ASIAN COLLABORATION AND THE NEXT GENERATION IN ONCOLOGY

PATIENT ADVOCATE PROGRAM

患者・家族、一般の方々にむけた特別プログラム

JSMO2022ホームページ

日時 2022年2月17日(金)～19日(日)

会場 国立京都国際会館 1階 Room C-1 (本会場)  
Room C-2 (中継会場) およびLIVE配信





# がんゲノム医療 がんは遺伝するの？ 遺伝しないの？ 研究者と意見交換しよう

がんは遺伝するの？ 遺伝しないの？

がんは遺伝子の変化によって起こることが知られています。では、遺伝するのでしょうか。

また、急速に進むがんゲノム医療において、私たちの社会にどのようなことが起こってくるのでしょうか。

第3回目のPPI勉強会・意見交換会は、2日間に分けて実施予定です。

1日目は、がんに関わる遺伝子について、これまでの研究の話をもふまえて学びます。

2日目は、遺伝するがんについて学び、国立がん研究センター東病院の医師、スタッフとの意見交換を予定しています。

これからの医学研究には患者さん、市民の声が欠かせません。

患者・患者家族・支援者の皆様、全国のがん患者会関係者の皆様、患者支援者の皆様、

本イベントテーマに興味がある一般市民の皆様、たくさんのご参加をお待ちしています。



視聴用URLから簡単アクセス

オンライン開催

Day1 2021年11月28日(日)

がんに関わる遺伝子と  
遺伝子パネル検査について学ぼう

13:00 配信開始 — 15:00 配信終了予定

Day1 プログラム

- 挨拶
- 講演1: 大腸がんを中心としたこれまでのがん遺伝子パネル検査
- 講演2: がん遺伝子パネル検査の結果レポートの見方
- 講演3: さまざまながんの遺伝子を調べるこれからの研究
- パネルディスカッション・質疑応答

Day2 2022年1月16日(日)

遺伝するがんについて意見交換しよう

13:00 配信開始 — 15:10 配信終了予定

Day2 プログラム

- 挨拶
- 講演4: 診療におけるがん遺伝子と遺伝の関係(予定)
- 講演5: 遺伝性のがんを知ること(予定)
- 意見交換(グループ対話)

参加費  
無料

※1日だけのご参加も可能です。※Day1では意見交換の時間はございません。予めご了承ください。

● イベント終了後、すべてのプログラムにご参加いただいた方に修了証を発行いたします。 ● 内容は変更になる場合があります。予めご了承ください。

参加費無料

お申し込みURL [http://event-info.jp/ppi/ppi\\_ncche.html](http://event-info.jp/ppi/ppi_ncche.html)



企画・主催	国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院 臨床研究支援部門 TR支援室
共催	一般社団法人 全国がん患者団体連合会
協力	株式会社ピーク・ワン
開催日程	Day1: 2021年11月28日(日) 配信開始 13:00 — 配信終了予定 15:00 Day2: 2022年1月16日(日) 配信開始 13:00 — 配信終了予定 15:10

参加費	無料
参加方法	お申込みいただいた方に、 後日参加用のURLをメール配付いたします
予定参加人数	Day1: 先着約100名 Day2: 先着約50名 (全国のがん患者、患者家族、患者支援者、一般市民等)

お問い合わせ

患者・市民参画(PPI)勉強会・意見交換会 運営事務局(株式会社ピーク・ワン内)  
Eメール: [ppi-ncche@event-info.jp](mailto:ppi-ncche@event-info.jp)



国立がん研究センター  
東病院  
National Cancer Center Hospital East

# 第3回 研究成果報告会

## 患者・市民とともにあゆむ

# J-SUPPORT

### ～支持・緩和・心のケア開発を目指して～

2021年 **12月5日(日)** 13:20 開場  
13:30～16:30

私たちはがん患者さんのQOL向上を目指し、支持療法(副作用を制御する治療)、緩和治療(がんによる症状の緩和)、心理社会的ケア・サバイバーシップケアの研究を進めてきました。今回は日本がん支持療法研究グループ(J-SUPPORT)の研究者が「患者・市民とともにあゆむ J-SUPPORT ～支持・緩和・心のケア開発を目指して～」をテーマに、研究成果報告会を開催いたします。

治療早期からの専門的緩和ケア介入プログラムについての臨床試験や共感的コミュニケーション促進介入プログラムについての臨床試験、患者・市民参画(PPI: Patient and Public Involvement)による支持・緩和・心のケア開発について、患者・家族・市民・医療者などの視点からディスカッションを行います。

#### お申し込み方法

こちらのリンクからお申し込みください。 <https://ws.formzu.net/dist/S3261237/>

お申し込み受付後にWEBシステム(ZOOM)の参加IDをメールでご案内いたします。

お申込み締め切り: 2021年11月24日(水) 17:00まで



#### お問い合わせ先

(一社) 全国がん患者団体連合会 事務局 [j\\_support\\_ppi@zenganren.jp](mailto:j_support_ppi@zenganren.jp)

ジェイ サポート

#### J-SUPPORTとは

がん支持療法、緩和ケア、心のケアに関する多施設共同研究をオールジャパン体制で支援する臨床研究グループです。詳細は下記URLもしくはQRコードよりご覧ください。

<https://www.j-support.org/>



【主催】J-SUPPORT 日本がん支持療法研究グループ

【共催】一般社団法人 全国がん患者団体連合会

【運営支援】キャンサー・ソリューションズ株式会社

本報告会は、全国がん患者団体連合会(全がん連)のPPI委員会が運営をお手伝いしています。

全がん連の中には、他にも、緩和ケア委員会、がん教育委員会、サバイバーシップ委員会、政策提言委員会、ピアサポート委員会があり、全国各地で活動する加盟団体間の交流を行っています。

### プログラム

総合司会：松本 陽子（愛媛がんサポートおれんじの会）

13:35 **開会挨拶**

13:40 **島田 和明**（国立がん研究センター中央病院長）

13:40 **J-SUPPORT 紹介**

13:50 **内富 庸介**（国立がん研究センターがん対策研究所 /J-SUPPORT 代表）

#### セッション①（緩和治療）

##### 専門的緩和ケアを早めに利用する～ J-SUPPORT 1603

13:50 進 行：清水 佳佑（肺がん HER2 「HER HER」）

14:20 山田 富美子（市民と共に創るホスピスケアの会）

発表者：松本 禎久（国立がん研究センター東病院緩和医療科 /J-SUPPORT）

共同研究者：小林 直子（国立がん研究センター東病院看護部）

質疑応答

14:25～14:30 休憩

#### セッション②（心理社会的ケア）

##### 今後のケアを医師と早めに話し合う～ J-SUPPORT 1704

14:30 進 行：眞島 喜幸（パンキャンジャパン）

15:00 古谷 佐和子（パンキャンジャパン）

発表者：藤森 麻衣子（国立がん研究センターがん対策研究所 /J-SUPPORT）

共同研究者：尾阪 将人（がん研有明病院 肝・胆・膵内科）

質疑応答

#### 総合討論

テーマ：患者・市民とともにあゆむ支持・緩和・心のケア開発

進行役：安部 正和（浜松医科大学医学部産婦人科学講座 /J-SUPPORT）

15:05 登壇者：天野 慎介（グループ・ネクサス・ジャパン）

15:55 岩澤 玉青（リンパ浮腫ネットワークジャパン（リンネット）、乳がん体験者の会「マリアリボン」）

勝井 恵子（日本医療研究開発機構）

内富 庸介（国立がん研究センターがん対策研究所 /J-SUPPORT）

指定発言：中釜 斉（国立がん研究センター）

島田 和明（国立がん研究センター中央病院）

15:55 **閉会挨拶**

16:00 **中釜 斉**（国立がん研究センター理事長）

16:00 **交流会** ※ご参加はご自由にどうぞ

16:30 テーマ：あれこれ言いたい支持・緩和・心のケア